

西宮市議会議員

# 田中まさたけ

正 剛



<http://masatake.jp/>

田中まさたけ

検索



市政・市議会報告



## 将来負担の増加をいかに抑えるか

私が初当選した19年前、西宮市は借金の返済額と人件費の増大により、財政破綻寸前の状態でした。抜本的な財政改革を市に対して求め、批判を受けながら様々な削減を断行した結果「今」があります。そして、全国トップクラスの人件費である西宮市の新年度予算は、人件費がさらに10億円も増加しました。人件費の規模は19年前の当時を上回る額になっており、再び、財政危機に陥ることを危惧しています。私は初志を忘れることなく、子供たちの世代に豊かな社会を残すために行動し続けます。

### 第66号の内容

●市立中央体育館再整備 ●令和4年度予算：高騰する人件費 ●「西宮市幼児教育・保育ビジョン」完成 ●小学生の放課後の居場所づくり ●県立統合新病院のゆくえ

## 西宮中央運動公園の再整備事業はさらに先送り 新体育館の完成は早くても6年後に。

令和4年度  
予算

6年の時間と約9000万円の経費をかけて精査をくり返し、現市長のもとで完成した「西宮中央運動公園及び中央体育館・陸上競技場等再整備事業基本計画」を再び止め、計画等を一部見直すために新年度予算に1800万円もの委託料を計上しました。さらに令和5年度にも2000万円の経費が必要になることも示されています。

この支出は、時間と税金を無駄にすることになると判断し、修正案を提出しましたが否決されたため、新年度予算に反対致しました。



記事に対するご意見や情報は、[nishinomiya@masatake.jp](mailto:nishinomiya@masatake.jp)までお寄せください。

## 市の対応は遅くて費用が高いため、民間の発想を活用して迅速に進めるよう提案しましたが。。

市が見直そうとしている太陽光パネルの増設や観覧席数などは、実際に建設・運営する民間事業者を選定する際に、その事業者から提案を募ったほうが効果的かつ迅速で効率的であると本会議場で提案しましたが、受け入れられませんでした。

見直しが実施されることは決定しましたが、南海トラフ大地震の発生が懸念される中、指定避難所になっている市立中央体育館は、一刻も早く整備に着手すべきです。



私は、多くの市民の命と健康、安全が重視される市政を目指してこれからも市に対して政策を提案してまいります。

# 職員を増やしてさらに人件費が増加。肥大化する西宮市役所の経営改革が急務です。予算案に対する反対討論で指摘しました。

令和4年度  
予算

## ■様々な理由を作って職員数を増やし続ける西宮市

約4年前、市長就任後の初議会において、当時から経常収支比率の人件費の割合が中核市の中で最も高い比率となっていることを指摘し、改善を求めました。その後も、たびたび人件費の高騰、特に職員数が増加傾向にあることに対して警鐘を鳴らしておりました。しかし、改善の兆しどころか、新年度予算において、前年度をさらに約10億円、前年度比で2.7%も増加する内容となりました。その最大の要因は、非正規職員数の増加です。

## ■やみくもに職員を増やし続ける市政運営の転換を

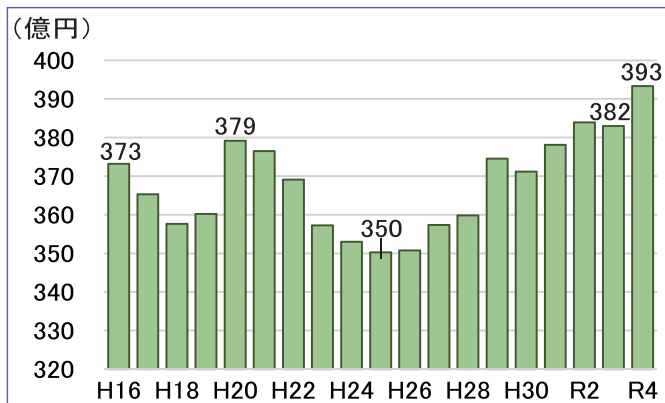
私は、限られた財源と人材で、住民福祉を向上するのが市長の果たすべき役割であると考えています。今後、さらに人口減少が進むと推測されている中で、膨らんだ職員数、人件費は、いずれ重たい負担となって市民にのしかかることを懸念しています。新年度こそは、人件

費の抑制に向けて結果を出すよう取り組むべきと、本会議での予算に対する反対討論において指摘致しました。

## ■住民生活の質の向上を最優先にすべき

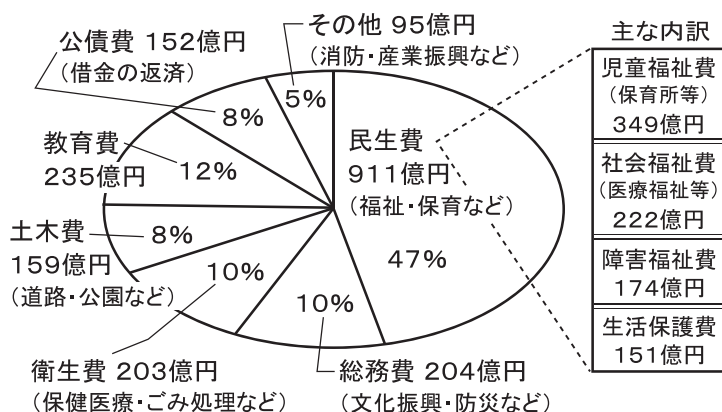
多くの市民が利用し、災害時には市民生活を守る避難所となる市立中央体育館を再整備した場合、年間約8億円の財源が必要になると見込まれています。これを先延ばしにした上で、人件費を増やし続けると、いずれ施設の再整備事業費も上乘せされることになり、財政悪化は必至と言えます。また、市民のための耐用年数をはるかに超えた施設の安全対策よりも、市職員の負担軽減を優先する現在の市政運営の方針を到底支持することはできませんでした。今後も、文教住宅都市として、住民生活の質の向上が優先される市役所運営を求め取り組みます。

## ●人件費(予算)の推移



人口減少が始まって人件費は膨らむ一方です。

## ●一般会計予算総額:1958億円(うち人件費は393億円)



## 提案した政策の進捗

## 令和4年3月、ついに「西宮市幼児教育・保育ビジョン」が完成。次は、ビジョンの実現に向けた取り組みが重要になります。

子育て  
支援

平成22年12月議会において、西宮市での幼児教育のあり方を示した「幼児教育振興アクションプログラム」を策定するよう提言して以来、機会があるごとに本会議場で策定を求めてまいりました。

そして、このたび令和4年3月に、ようやく「西宮市幼児教育保育ビジョン」が完成致しました。

今後は、このビジョンに基づいて、具体的な政策を展開することが重要と考えています。

私は、これまでに市議会で提案してまいりました、

- 適切な維持管理による公園環境の充実と安全性の向上
- 既存の公共施設を活用した児童館機能の全小学校区への拡大
- 自然環境の保全と子供が豊かな自然に触れる機会の創出
- 幼児教育研究センターの設置
- 「子育てひろば」を活用した乳幼児期の親子教室や食育の強化

など、これからの日本を担う「人」を育成

する文教住宅都市を目指し、政策提言を続け、実現されるよう努力してまいります。



西宮市内での風景です。



# 市民からのご意見に基づき将来を見据えて提案した政策は、始めはないがしろにされても、数年後には市の主要な政策となっています。

## 小学生の放課後の居場所づくりは発展中です。

現在、西宮市では、留守家庭児童育成センター（以後、「学童保育」と記載）とは別に、小学生の放課後の居場所づくり事業が行われています。主に放課後に使われない学校施設を活用し、小学生が体を動かして遊んだり、読書や宿題をすることで、運動や学ぶ機会を確保することを目的にしています。

| 放課後キッズルーム事業<br>(放課後子供教室)                                           | 留守家庭児童育成センター<br>(学童保育)                                                 |
|--------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------|
| 令和4年度から<br><b>26校区</b> で実施<br>(直営20・委託型6)                          | <b>全校区(41校)</b> に開設<br>+ 民設民営6ヶ所(さらに<br>4ヶ所で開設準備)                      |
| <b>小学1年～6年生の全児童が対象</b> (3年生以上に限定している学校もあり)。<br>学校によってルールや活動内容は異なる。 | <b>小学1年～3年生</b> (障害のある児童は6年生まで)の特定条件下(保護者の就労等)の児童が対象。<br>19校では4年生も利用可。 |
| 保護者負担<br><b>保険料(年間800円)</b>                                        | 保護者負担<br><b>保育料月額8200円</b><br>(延長利用は3000円追加)                           |

私が、この政策に取り組んだきっかけは、学童保育での4年生以上の受入れを要望する保護者の皆様から平成22年に頂いたご相談でした。学童保育で高学年を受け入れるには、主に部屋の面積や男女兼用トイレの問題など施設面での課題がありました。また、保育所不足が続く中、学童保育での対応だけでは施設がさらに不足することも懸念されました。そこで、学校施設を活用し、希望する全児童を対象にした「放課後子供教室」の実施を市に対して提案しました。その後、安井小学校区の地域の方々に始めて頂いた夏休みの居場所づくりに私も携わり、市は課題の把握を進めました。そして、市議会での提言から5年後の平成27年度に、市は「子供の居場所づくり事業」を開始、令和4年度からは「放課後キッズルーム事業」として26校区に拡大されます。

市民の行動と地域のご協力によって、現在の子供の育成環境を作っていることを実感しています。これからも市民の声を頂けるよう努め、未来に誇れる西宮を皆様とともに作っていけるよう頑張ります。

健全  
育成

### ■田中まさたけの取組みと市の動向

#### ●平成22年



平成16年度から瓦木地区で取り組まれていた放課後の居場所づくり事業を見学・インタビュー

学童保育と一体的に放課後子供教室事業を実施していた我孫子市と八王子市の取組みを視察

#### ●12月市議会で放課後子供教室の全校実施を提言

#### ●平成23年

安井地区で地域の方々と移動児童館、保護者のご協力のもと、地域主体で夏休みの居場所づくりの取組みが開始

#### ●平成24年

#### ●9月市議会で滞在型の放課後子供教室の拡充を提言

#### ●平成27年度

安井、甲東、小松小で市が「**子供の居場所づくり事業**」を開始

#### (平成27年度予算)

- 子供の居場所づくり事業経費  
2100万円(3ヶ所)
- 学童保育管理運営経費  
8億8700万円(41小学校)

#### ●平成28年度

11校区(全て市直営)に拡大

#### ●平成29年度

15校区(全て市直営)に拡大

#### ●令和元年度

運営を民間に委託した「放課後キッズルーム」を試行(2校)

#### ●令和2年度

20校区(うち委託型が5校)に拡大

#### ●令和4年度

子供の居場所づくり事業を放課後キッズルーム事業に名称変更  
26校区(うち6校が民間委託型)に拡大予定

#### (令和4年度予算)

- 放課後キッズルーム事業経費  
1億8400万円(26ヶ所)
- 学童保育管理運営経費  
20億1200万円  
(41小学校+民設民営6ヶ所)



西宮市HPより

私は、大人だけの都合ではなく「子供の育ち」を重視して、次世代を担う「人」を育成できる文教住宅都市の建設を目指します。

安心  
安全

## 県立西宮病院と市立中央病院の統合の進捗

アサヒビール西宮工場跡地に建設予定の県立西宮病院と市立中央病院の統合新病院((仮称)西宮総合医療センター)は、感染症対応など一部計画が見直され、予定通り令和7年度の開院に向けて事業が進んでいます。その進捗に合わせ、新病院に隣接する場所に整備される予定の公園の設計費が、西宮市の令和4年度予算に計上されました。

また、**県立病院の建設費にかかる市の負担金は、当初計画よりも約4.1億円増え(14%増)、令和4年度予算において、約38億5000万円の債務負担行為(支払いの約束)が設定されました。**

今後は、新病院の開院と同時に閉院する予定の市立中央病院の跡地活用(民間病院の誘致等)や、債務の精算等閉院時に必要となる財源の見込みや閉院後の職員の処遇について、まだ兵庫県との具体的な協議には至っていないことから、閉院に向けた協議、準備を急ぐよう本会議での討論で指摘しました。



←アサヒビール西宮工場跡地  
○令和4年度予算  
公園整備  
(測量・基本設計)  
328万円

### ■病院事業に関する令和4年度の主な予算

#### ●市立中央病院医療機器等整備事業費

8000万円(病院事業会計)

#### ●市立中央病院への市税からの繰入金

13億9600万円(西宮市一般会計)

#### ●県立統合新病院建設費にかかる市負担金

38億5300万円(令和5～37年度の合計)

記事に対するご意見やお問い合わせ、情報は、  
[nishinomiya@masatake.jp](mailto:nishinomiya@masatake.jp)までお寄せください。

## 馴れ合いを排し、現市政に対して是々非々の姿勢を貫くために政新会を退会し、保守系の新会派「政蘭会」で活動することを決めました。

3月市議会で提出された令和4年度予算案に対する対応に関連して、これまで8年間所属してまいりました「政新会」を退会することになりました。そして、市長選挙に対する対応に関連して政新会を退会された他の議員3名と共に新会派を結成し、5月に「政蘭会」に

改名し活動することになりました。

今後も、先人が築いてきた文教住宅都市「西宮」を守り子供たちの世代に継承していくために、初志貫徹、提案する政治・実現する政治を目指し、行動する政治を貫いてまいります。

## 約束のかたち：「市政・市議会報告」の発行の継続、「市政報告会・意見交換会」の開催

このチラシは、単なる広報やPR誌ではなく、市民の声を伺うきっかけとなる広聴のためのチラシでもあり、選挙前だけではなく定期的に作成してきました。このチラシを見て、掲載内容以外のことも含めてご意見を寄せてもらっています。すぐには実現できない内容も多いですが、だからこそ、今すぐ着手しなければならないこともあります。諦めずにご意見や情報をお寄せ下さい。

発行責任者

田中正剛 たなか まさたけ

profile

昭和50年7月生まれ/大阪府立四条畷高等学校、神戸大学工学部卒業/元市議員事務所にて4年間勤務した後、平成15年4月に西宮市議会議員選挙初当選(27歳)

■担当委員会:健康福祉常任委員会 ■政党:自由民主党

■これまでに就任した市議会での主な役職

厚生常任委員会委員長、西宮市監査委員、病院問題特別委員会委員長、阪神水道企業団監査委員、西宮市議会副議長、建設常任委員会委員長、民生常任委員会委員長、第88代西宮市議会議長(41歳)



### ■65号:手遅れになる前に

学校体育館にエアコン設置へ、市立中央体育館再整備、公立保育所の民間移管の有効性、指定ごみ袋の導入などについて掲載。



←YouTubeを使用して動画による情報発信も始めました。スマホの方は、こちらからご覧いただけます。